

宮古		発行所
	「活力ある農業」の意味（ワイドー=がんばれ、ぱり=畑）	宮古農林水産振興センター農業改良普及課 〒906-0012 宮古島市平良字西里1125 TEL : 0980-72-3149 FAX : 0980-72-9751



新規就農者等の支援活動について

農業改良普及課では、就農を希望する方や新規就農者を対象に、関係機関と連携した支援を行っています。講座は年度途中からの受講も可能なので、関心のある方はお問い合わせ下さい。（コロナ対策や台風等により日程の変更等がある場合があります。）

1 新規就農サポート講座

就農を志す方を支援するため、就農希望者、就農3年未満の新規就農者、青年農業者等を対象に年6回開催しています。関係機関の業務、農家支援対策・制度、基本的な栽培技術などに関する幅広い内容となっています。



当課HPに年間スケジュールを掲載しています

2 就農ステップアップ講座

早期の経営確立を支援する目的で、新規就農支援事業活用者を主対象として開催しています。品目別に、実践的な栽培(飼養)技術、施設管理、病害虫防除などに関する座学・現地検討会を行っています。

講師は地域農業のリーダーである指導農業士等が務める場合もあり、先輩農家から経験を交えた助言を受けられ、また、知り合える良き場ともなっています。

3 新規就農に向けた長期農家研修

地域農業と次世代を担う農業者として新規就農する志を持ち且つ農地の権利取得等に目処が付き就農が確実と見込まれる方で、実践的農家研修を希望する方に対し、指導農業士の下での長期研修を支援しています。研修は、(公財)沖縄県農業振興公社の新規就農促進事業や国の新規就農者育成総合対策「就農準備資金」を活用して実施します。現在、1名の方が研修を受けています。

4 宮古島市就農サポートチームによる巡回指導、中間評価

国の農業次世代人材投資事業「経営開始型」交付対象者について、サポートチーム(市、JA、県(家畜保健衛生課、普及課)、農業士等)を編成し、早期の経営安定に向けた支援活動を行っています。内容は、対象者が提出する書類(就農状況報告書、確定申告書等)及び圃場巡回等による就農状況の確認(就農計画に則した農業所得を上げているか、計画達成に向けた農業活動を行っているか等)と、抱えている課題の共有化、指導、アドバイス等です。また、国が交付対象者毎に定める時期に中間評価(交付停止となる場合もある)を実施しています。

R4年度土壌検診週間の診断表の見方について

宮古地区土づくり運動推進協議会では、7月4日～6日にかけて、土壌分析を実施しました。今年度の分析点数は、169点（提出者96名）でした。

施設栽培では、特にリン酸とカリウムが蓄積しているほ場が多くみられます。リン酸、カリウムの過剰な蓄積によってバランスが崩れると、微量元素の欠乏症等の生理障害を誘発しやすくなるので、分析結果を参考に施用量を検討しましょう。

分析結果の見方について（施設栽培ゴーヤーを例として、説明します！）

pH・石灰が高い
ゴーヤーの適正pHは約6～7。これ以上pHを上げないために石灰質資材を使わない。

分析項目	(単位)	分析値	適正範囲		判定		
			下限	上限	低い	適正	高い
pH		7.6	5.5	～ 7.0	(Bar chart showing high pH)		
EC	mS/cm	0.1	0.0	～ 0.5	(Bar chart showing low EC)		
交換性石灰	mg/100g	800	190	～ 383	(Bar chart showing high lime)		
交換性苦土	mg/100g	103	67	～ 112	(Bar chart showing low lime)		
交換性加里	mg/100g	72	25	～ 53	(Bar chart showing high lime)		
可給態リン酸	mg/100g	226	20	～ 75	(Bar chart showing high phosphate)		
腐植	%	2.3	2.0	～ 5.0	(Bar chart showing low humus)		
CEC	me/100g	19.6	土壌固有値		(Bar chart showing low CEC)		
石灰苦土比	Ca/Mg	5.6	3.0	～ 6.0	(Bar chart showing high ratio)		
苦土加里比	Mg/K	3.4	2.0	～ 4.0	(Bar chart showing high ratio)		
推定硝酸態窒素	mg/100g	1.4	0.0	～ 5.0	(Bar chart showing low nitrogen)		

リン酸・カリウムの蓄積が見られる
リン酸・カリウムが少なめの基肥を使用する。
例) ハイパーCDU 15 - 6 - 6 - 1
(窒素 - リン - カリ - マグ)

土壌中にバランスよく、養分が含まれていることが、大切です。

腐植の数値は問題ないが・・・
土づくり（腐植維持）のため、
牛糞堆肥や緑肥の栽培・すき込みを行いましょう！

牛糞堆肥については、施用量に注意しましょう

～ 緑肥の選び方 ～

ソルゴー（イネ科）
有機物の増加（堆肥換算2～3トン）
深根性のため土壌改良効果あり
固く締まっている土地に有効
施肥が必要な場合がある
出穂前後にすき込む

クロタラリア（マメ科）
空気中の窒素を土壌中に還元
地力が低い・痩せた土地に有効
開花前にすき込む

緑肥すき込み後、1ヶ月以上経ってから、作付けを行いましょう！

農業経営情報

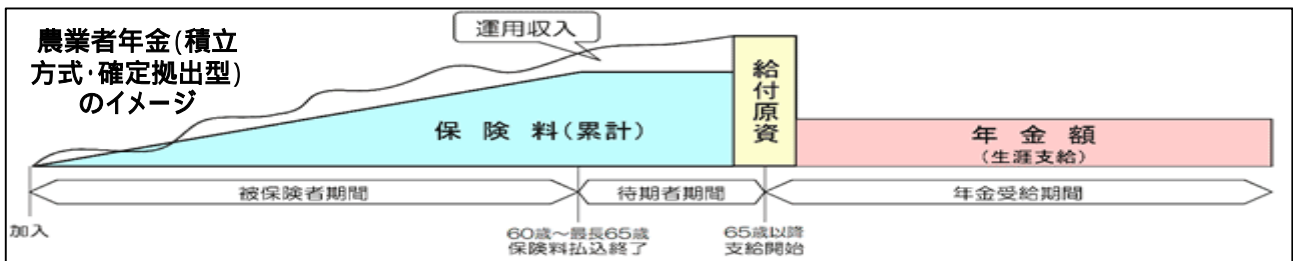
かけて安心！「農業者年金」「所有者不明土地関連法」について



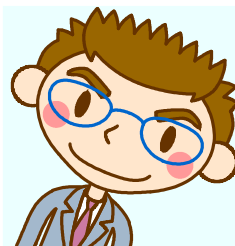
かけて安心、 「農業者年金」！ 節税効果もあります！

日本人はよく貯金すると言われ、資産のほぼ5割が現預金との統計があります。経済活性化を目指したマイナス金利政策により預金金利が発生しない現状が今後10年は続くという見通しもあり、金融庁により「貯蓄から投資へ」と、資産運用を推し進める制度が創設されています。総務省の家計調査によると、高齢世帯の生活費は月に約25万円です。また、厚生労働省の調べにより農業者は男性・女性とも、日本人平均より3歳長生きであるとのこと。老後の備えは必要です！「農業者年金」は「確定拠出型年金」で少子高齢化時代に強い制度です。39歳までの加入、認定農業者認定を受ける等の要件を満たすと「政策支援（掛け金の国庫補助）」が受けられます。なお、掛金は所得から控除できます。ぜひ、ご検討下さい！

用を推し進める制度が創設されています。総務省の家計調査によると、高齢世帯の生活費は月に約25万円です。また、厚生労働省の調べにより農業者は男性・女性とも、日本人平均より3歳長生きであるとのこと。老後の備えは必要です！「農業者年金」は「確定拠出型年金」で少子高齢化時代に強い制度です。39歳までの加入、認定農業者認定を受ける等の要件を満たすと「政策支援（掛け金の国庫補助）」が受けられます。なお、掛金は所得から控除できます。ぜひ、ご検討下さい！



登記および登記制度とは、持ち主の権利を守ることで、取引を円滑にするため、定められている法制度です。登記をして登記名義人になってはじめて、第三者に対して権利（＝対抗要件）を主張できます。「相続登記の義務化」など



令和5年、6年から 「所有者不明土地関連法」 が施行されます！

「所有者不明土地問題」に対処するための民事基本法制の見直しが始まります。

登記がされるようにするための不動産登記制度の見直し（発生予防）

- ① **相続登記の申請義務化**
 - 相続人申告登記の創設などの負担軽減策・環境整備策をパッケージで併せて導入
 - ② **住所等の変更登記の申請義務化**
 - 他の公的機関（住基ネット等）から取得した情報に基づき、登記官が職権的に変更登記をする方を併せて導入 など
- （公布後5年を超えない範囲内で政令で定める日）
※今後、政令を制定

（①につき）
令和6年4月1日施行

土地・建物等の利用に関する民法の見直し（利用の円滑化）

- ① **財産管理制度の見直し**
 - 所有者不明・管理不全の土地・建物管理制度等の創設
- ② **共有制度の見直し**
 - 共有者不明の共有物の利用の円滑化
- ③ **相隣関係規定の見直し**
 - ライフラインの設備設置権等の規律の整備
- ④ **相続制度の見直し**
 - 長期間経過後の遺産分割の見直し など

令和5年4月1日施行

土地を手放すための制度の創設（発生予防）

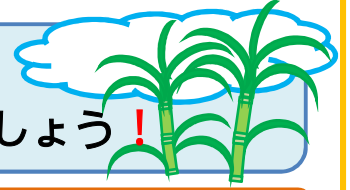
- **相続土地国庫帰属制度の創設**
 - 相続等により土地の所有権を取得した者が、法務大臣の承認を受けて、その土地の所有権を国庫に帰属させることができる制度を創設

令和5年4月27日施行



夏植え時期の到来です！

適切な植付けと管理でさとうきび増産を目指しましょう！



植付けのポイント

1 苗の調苗と植え付け前の処理

- ・若くて芽が傷んでないものを選んで2節苗に調苗しましょう。
- ・苗を一晩水（または石灰水）に漬けると発芽が促されます。
- ・黒穂病の発生地域では、予防としてベンレート水和剤に浸漬しましょう。



2 植付け作業

- ・適切な畦幅に設定しましょう。 手刈り(120cm～) 機械収穫(140cm～)
- ・植付け本数は2節苗を2500～2800本/10a、欠株を減らすために多めに投入しましょう。
- ・土壌害虫対策としてプリンスベイト(6～9kg/10a)等を施用しましょう。
- ・覆土は2～3cm。適度に鎮圧して苗と土を密着させましょう。

3 植付け後のかん水

- ・発芽には水が必要不可欠であるため、発芽するまでは土が乾かないように2～3日おきにかん水しましょう。

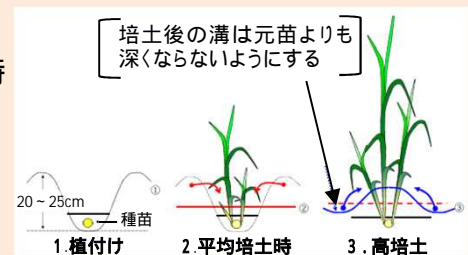


4 植付け後の雑草防除

- ・雑草が繁茂すると、生育・分げつ共に抑制されます。
 - ・植付1週間以内に土壌処理剤(カーメックスD水和剤等)を散布し、雑草の発生を防ぎましょう。
- 土壌処理剤は植付け後に生えてくる雑草を防ぎ、中耕・平均培土までの雑草を抑えます。

5 適切な時期に培土

- ・培土が早すぎると分げつが抑制され、遅すぎると作業時に根や茎に損傷を与え生育が抑制されてしまいます。
- ・平均培土は植付2ヶ月後(仮茎長30cm程度)、高培土は植付4ヶ月後(仮茎長50cm程度)を目安に培土をしましょう。



宮古島市における牧草品質調査結果

令和3年度16件の牧草調査を行い、C P（粗タンパク質）を比較したものが、右のグラフになります。

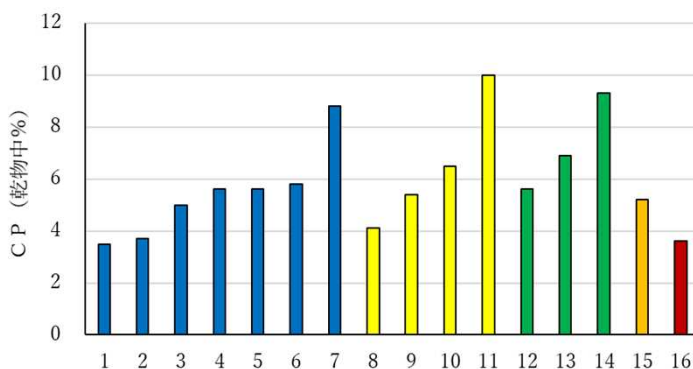
C Pの幅は3.5～10%あり、平均にすると5.9%と、同じ品種でもかなりばらつきが多い結果になりました。

これは刈取時期や施肥量、個人の管理状況によって品質が変化したと考えられます。

牧草品質の向上のため、適期刈取や適正な施肥に努めましょう。

また飼料給与の際は、牛のコンディションに注意しながら、粗飼料と濃厚飼料のバランスを考えた飼料給与を検討しましょう！

牧草中の粗タンパク質（C P）含有量



1~7：ローズグラス、8~11：ギニアグラス、12~14：トランスバール、
15：ジャイアントスターグラス、16：野草

※令和3年度飼料分析調査結果（宮古地区：16検体）

これだけは知っておきたい栄養学用語

C P：粗タンパク質
家畜の成長・維持等に必要な栄養素

T D N：可消化養分総量
家畜が消化・利用できるエネルギー総量

D M：乾物
飼料－水分＝乾物（養分総量）

N D F：中性デタージェント繊維
総繊維のこと（セルロース、リグニンなど）

肉用牛研究クラブの活動状況

肉用牛研究クラブは発足から10周年を迎えました！

普及課では学びや交流の場、農家の技術面などの支援を行っています。

7月15日には、普及課の会議室で草地管理についての講座や意見交換会、牛舎での現地検討会などを行いました。

今年度は多良間村クラブ員を中心とした牧草の調査、寒地型牧草の展示ほ設置などの活動を行います。

コロナ禍ではありますが活動していきますので、今年度もよろしくお願ひします！

宮古地区就農青年クラブ連絡協議会 の紹介

本協議会は、青年農業者の生産技術向上と仲間づくりを目的に、現在12名の会員が加入し、活動しています。

研修会への参加だけでなく、農業のことを気軽に相談出来る仲間づくりが出来ます。また、研修を通して島外の青年農業者との交流もできます。

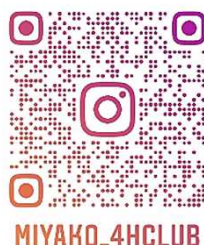
活動の様子



食育活動
(保育園や小学校で
野菜苗の植付支援)



プロジェクト研究
(防風林・防風垣の検討)



MIYAKO_4HCLUB

農業をしている方や
就農希望の
20~30代のみなさん!
一緒に活動しませんか。
活動は、Instagramでも
紹介しています。

八重山青年クラブとの交流
(R3年は石垣島、R4年は宮古島にて)

パイプ加工研修

現地検討会(土づくり)

野菜苗作り 研修(ミバエ類防除体制)

【今後の研修会の予定】

農薬適正使用、収入保険制度、記帳アプリの活用 等

- 青年クラブ主催の研修会は、クラブ員以外の青年農業者や就農希望者も参加できます
- 興味のある方は、お気軽に普及課またはクラブ員にお声かけください!